

平成23年度 第3回埼玉県立図書館協議会会議録

◇ 日 時 平成24年2月16日(水) 午後2時00分～午後3時30分

◇ 会 場 久喜総合文化会館 視聴覚ライブラリー室

◇ 出席者 (1) 出席委員

内田一雄委員	白石匡子委員	松田昌雄委員
久保田洋子委員	松山妙子委員	佐藤淑恵委員
青木淳子委員	小笠原清春委員	関口聡美委員
坂西友秀委員	小谷野幸夫委員	村田三恵委員

(2) 図書館職員

【県立浦和図書館】

小川館長 永作副館長 乙骨副館長 西島教育主幹
民本主席司書主幹 荻原司書主幹

【県立熊谷図書館】

岸本館長 千吉良副館長 嶋村教育主幹

【県立久喜図書館】

橋本館長 豊崎副館長 伊藤教育主幹 西村司書主幹
池谷司書主幹 神原司書 川田主任

◇ 会議次第

1 開 会 [久喜図書館 伊藤教育主幹]

2 あいさつ 久喜図書館 橋本館長

3 平成23年度第2回会議録報告

4 会議の公開について議決

傍聴希望者なし

5 会議録署名委員の指名

会長が、松山委員と佐藤委員を指名し、了承された。

6 議 事

(1) 埼玉県立図書館協議会サービス評価小委員会について(協議)

[浦和図書館 民本主席司書主幹]

埼玉県立図書館協議会サービス評価小委員会設置要項に基づき、小委員会について説明及び委員の選出

【質疑】

会 長／要覧の2頁に平成23年度埼玉県立図書館運営の重点目標及びサービス評価指標がある。実際の全体評価はこの後行うということによいか。

事務局／小委員会が開かれるのは来年度の5～6月である。今年度の数値は3月末まで確定しないが、確定後にサービス評価指標の達成数値を出す。達成数値に関して、図書館から委員に対して、このようなサービス展開を行ってこのような結果にな

ったと説明する。また来年度に向けた目標数値に対して、委員から忌憚のない意見を頂戴する場として、小委員会を開催する。

会 長／最終的な評価をした結果は、どういう形となるのか。

事務局／要覧に載せる。また毎年ウェブサイトで達成状況と、当該年度の数値目標について公表している。

会 長／公募委員2名とその他に2名ということであるが、小谷野委員と村田委員はよろしいか。(本人了承)

その他の委員の選任について、事務局案はあるか。

事務局／図書館経営やサービスについて専門的な立場からの御意見をいただけるということから、公共図書館の松田委員と、子ども読書活動の推進にご尽力いただいている青木委員にお引き受けいただきたいと、事務局では提案したい。

会 長／松田委員、青木委員はよろしいか。(本人了承)

サービス評価小委員会の委員に、小谷野委員、村田委員、松田委員、青木委員の4名の選任でよろしいか。(了承)

(2)「図書館と県民のつどい埼玉2011」の結果について(報告)

[荻原司書主幹]

資料1及び追加配布の報道発表資料に基づき、実施状況について説明

【質疑】

委 員／私も参加させていただいた。あさのあつこ先生の講演が面白く、また講演だけでなく、中高生とのセッションがとても新鮮で良かったと思う。先生もやはり中高生からの質問だと「自分でここまで、しゃべるつもりではなかったんだけど」というような言葉でおっしゃりながら話してくださり、興味深い講演でした。

委 員／私は分科会1にも参加したが、席が空いていた。もう少し参加者がいれば良かったと思う。

会 長／今回で5回目となるが、毎年、会場探しでは事務局が苦労している。できるだけ1か所で開催して、分科会が開ける部屋もあってということで、適切な広さの会場を確保するのが難しいようだ。

この後報告が作成されて、それはどのような形でアピールしていくのか。

事務局／2月末に記録集が出来上がる。各図書館や関係したセクションに送付する。現在、図書館のウェブページに簡単な報告が載っているが、そちらの方に載せたいと思う。

また、イベントの開催には広報が非常に重要である。今年、場所が変わったということで、若干参加者が少なかった。あらかじめ場所を1年前に予約で確保するという点では、他に選択肢がないというような状況であり、当面、桶川市で続けて開催したいと考えている。定着させるべく、地元市あるいは近隣の市民に対して様々な手法でアピールしていきたいと考えている。

(3) 平成24年度当初予算案について(報告)

[西島教育主幹]

資料2に基づき、図書館管理運営関係予算、県立図書館関連事業予算の内容及び前年度比較について説明

(4) 久喜図書館における子ども読書サービスについて(概要説明)

[池谷司書主幹]

資料3及び追加配布のチラシに基づき、プロジェクターを使用し、子ども読書サービスの概要について説明

【質疑】

委員／おはなしボランティア指導者の養成講座に取り組んでいることについて、39名を指導者として派遣しているとのことだが、逆に派遣した指導者の意見をフィードバックさせるような機会はあるのか。

事務局／指導者を派遣した学校からの報告書がある。またフォローアップ研修会を必ず年3回実施している。そこで皆さまからの御意見や悩み、指導先で困ったことは、直接、子ども読書推進担当にいただいても結構だし、研修会の中で解決するようにもしている。

委員／できたら、そういった御意見をいただいた時に、悩み事や問題点には共通項目があるので、分類をして、問題解決をフィードバックするような御尽力をお願いしたい。養成するだけでなく、手引き書等を図書館が作っていくと、こういう活動をする方にとって力強いのではないかと思う。

現場での悩みというのは、遠慮して言いづらい所もあると思う。指導者の方だけでなく、読み聞かせをした時に接した父母からの意見、こういった本を読みたいとか、こういった本を読ませれば良いのかとか、そういった直接的な意見など聞き取りをし、図書館が吸収し、答えていくと、もっと養成講座が発展していくのではないかと思う。

事務局／読み聞かせのボランティアが非常にたくさん増えている状態で、子ども読書交流集会や色々な場所でその都度、皆さんのこういう講習を受けたいということに、対応するように努力している。参加される皆さんは、しっかりここが聞きたいという質問を書いてくれる方が多い。皆さんの意見、悩みをしっかりと受け止めて、色々な講習会、研修会を行いたい。

委員／担当の方が4名、兼任されている方が浦和館と熊谷館で2名ずつということだが、その方は定期的に週何回とか、熊谷と浦和へ行くのか。

事務局／浦和、熊谷ともそれぞれ2名ずつ、子ども室に担当がいる。2名は子ども室で活動するだけでなく、各館の中で他の業務も兼任しているということである。

委員／行ったり来たりしているわけではないのか。

事務局／はい。

会長／県立久喜図書館の児童書は12万冊ということだが、埼玉県内にある児童書は最終的には県立久喜図書館が責任をもって全部を保存されると考えてよいか。

一般書については、市町村と県で共同して、県内で最後の一冊になる本は、それぞれの館で責任をもって保存しようという話があったと思う。児童書について

は、その点どうなのか。

事務局／ISBNによる保存の協定から、やはり最後の一冊はその館で保存となる。児童書も同じ。市町村の図書館は複本の数を含めて蔵書数を出していると思う。久喜図書館の今の状態は、複本はほとんどなく、1冊ずつ異なる本を12万9千冊持っているという風に考えていただければと思う。県立3館で1冊しかない児童書は、すべて久喜図書館の書庫に移動したので、1冊ずつだが久喜図書館で保存している。

会長／子ども読書支援センターは久喜にあるが、浦和と熊谷の子ども室は、その支所的な役割は担っているのか。

事務局／チラシを配ったり、PRをしたりしている。また、おすすめ本の紹介という仕事があるが、その選定に関し、サービス現場にいる職員の様々な意見を反映させるため、4名の専任職員だけでなく、浦和と熊谷の職員にも参加してもらっている。そういう形の協力関係はある。浦和と熊谷の場合は、子ども室で直接サービスを行っているが、バックではそういう業務も担当しているので、ある意味では支援センターの機能を、その職員は有していると言える。

(5) その他

①ウェブページの多言語化について（報告）

〔民本主席司書主幹〕

資料4に基づき、ウェブページの多言語化の取扱いについて説明

【質疑】

委員／一番先頭にガイドと書かれてあるが、これは英語である。他のチャイニーズや 코리아も英語で書かれている。これも含めた全部が利用案内と見ないと、英語が分からない方が見ても分からない。あまりいないと思うがそう感じたので、その所はそうした形にした方がよいかと思う。

②横断検索システムについて

【質疑】

委員／前回に話があったと思うが、昨年12月に伊奈町立図書館が蔵書検索システムを更新したが、なかなか横断検索システムに反映されずエラーになっていた。この辺の対応はどうなっているのか。2月27日から上尾市図書館が同じようにシステム更新をしようと思うが、その場合に連絡がきてすぐに対応できない場合には横断検索システムから一時的に外すとか、メッセージを出すとかの方が利用者にとって良い。

今までも検索に時間がかかるとエラーになることがあったので、それと同じかと思ってしまい、実際に自分の近くの市立図書館に蔵書があったのに、分からずに探しに行ってしまったという事例もあると思う。その辺の状況について説明いただきたい。

事務局／横断検索のメンテナンスに関しては、一応市町村の図書館の方にシステムの入替とか、お休みする場合は連絡をいただくようお願いはしているが、なかなか情報をいただけないのが現状である。担当が見て気付くということも、御指摘のとおりに多々あり、悩ましく思っているところである。検索してもなかなか結果が返ってこないということもあるので、なるべく連絡を密にしてやっていきたいと思う。また、横断検索のお知らせの画面で、システムが休止中とかお知らせするように工夫していきたい。

会長／関連して、以前、連絡が悪くて浦和館とさいたま市で休館日がかぶってしまったことがある。何年かに一度はある話なので、普段から密に情報交換をしていただきたい。

議事終了

8 閉会

〔久喜図書館 伊藤教育主幹〕

会議録署名

会 長 _____ 印

委 員 _____ 印

委 員 _____ 印